

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年7月16日 金曜日

## マップのサンプル解説 (5) - マップに表示されている医療機関をレポートする

[こちらの記事](#)の続きです。

マップに表示されている医療機関をレポートに表示します。

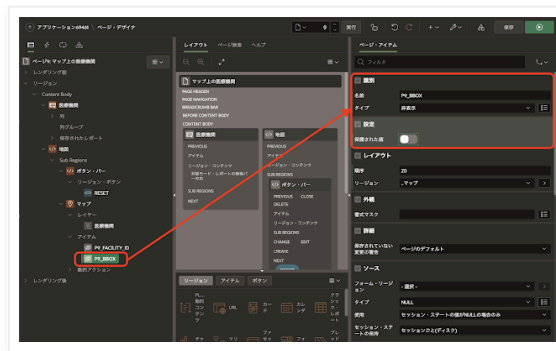


マップのサンプルではCircle Searchのページに実装されています。[こちらの記事](#)で作成したレポート上で選択のページをコピーします。ページ番号は9、ページ名はマップ上の医療機関とします。

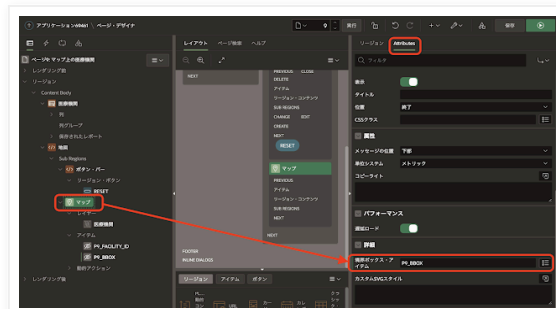


ページが作成されたら作業の開始です。

マップ・リージョンにページ・アイテムP9\_BBOXを作成します。このページ・アイテムは、マップ・リージョンに表示されている領域のジオメトリを保存します。タイプは非表示、設定の保護された値はOFFにします。

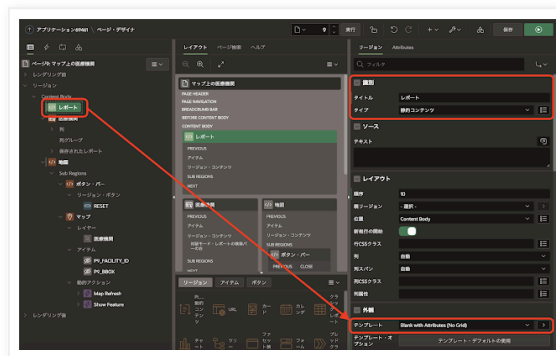


マップ・リージョンのAttributesを開き、詳細の境界ボックス・アイテムとしてP9\_BBOXを指定します。この設定により、マップに表示されている領域がP9\_BBOXに保存されます。

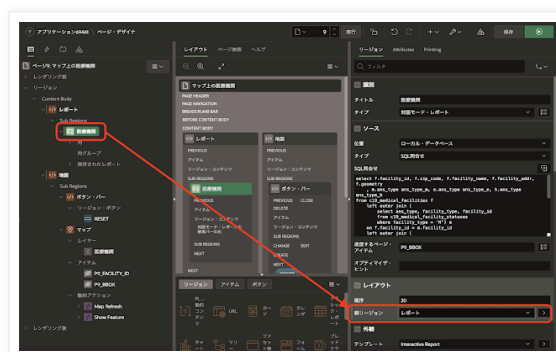


マップの表示倍率が低いと多数の医療機関がマップ上に表示されます。それらすべての医療機関をレポートに一覧する代わりに、マップの倍率を上げるよう警告を表示します。

最初にレイアウトを調整するためのリージョンを作成します。リージョンの作成を実行し、Content Bodyの直下に配置します。識別のタイトルをレポートとします。タイプは静的コンテンツ、外観のテンプレートとしてBlank with Attributes (No Grid)を選択します。



対話モード・レポートのリージョン医療機関のレイアウトの親リージョンをレポートに変更します。



警告を表示するリージョンを作成します。**リージョンの作成**を実行し、**識別のタイトル**を**レポートなし**とします。**ソースのテキスト**として以下を記述します。

詳細のレポートを表示するには、マップの表示領域が広すぎます。  
レポートを表示するにはマップを拡大してください。

レイアウトの親リージョンは**レポート**とし、**外観のテンプレート**に**Alert**を選択します。



これで、レポートの準備はできました。

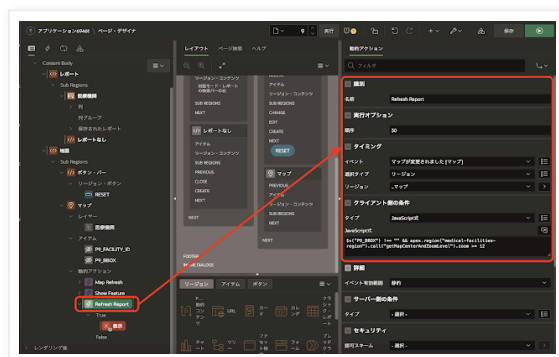
マップの表示領域が変わったときに（ズームイン、ズームアウトされたとき）動的アクションを起動し、医療機関のレポートをリフレッシュします。

マップ・リージョンで**動的アクション**の作成を実行します。

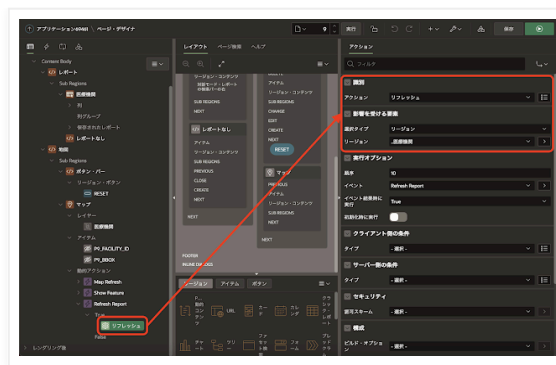
識別の名前を**Refresh Report**とします。**タイミングのイベント**は**マップが変更されました [マップ]**です。**選択タイプ**は**リージョン**、**リージョン**は**..マップ**を選びます。**クライアント側の条件**として、**タイプ**に**JavaScript式**を選び、**JavaScript式**に以下を記述します。

```
$v("P9_BB0X") !== ""
&&
apex.region("medical-facilities-region").call("getMapCenterAndZoomLevel").zoom >= 12
```

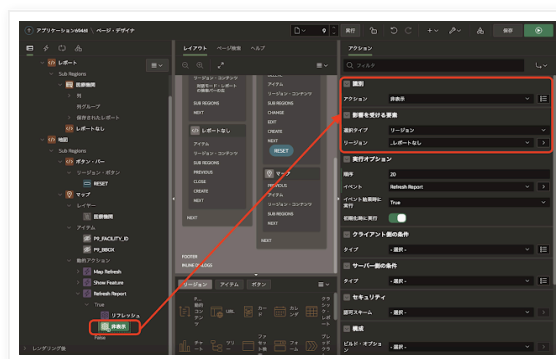
P9\_BB0Xに値が設定されていて、かつ、マップの倍率が12を超えているときに、マップに表示されている医療機関をレポートに一覧します。



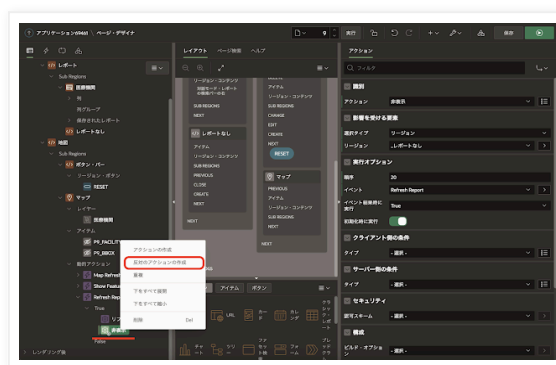
最初の**Trueアクション**として、**識別のアクション**を**リフレッシュ**、**影響を受ける要素の選択タイプ**を**リージョン**、**リージョン**に**..医療機関**を指定します。このアクションによって医療機関のレポートが更新されます。



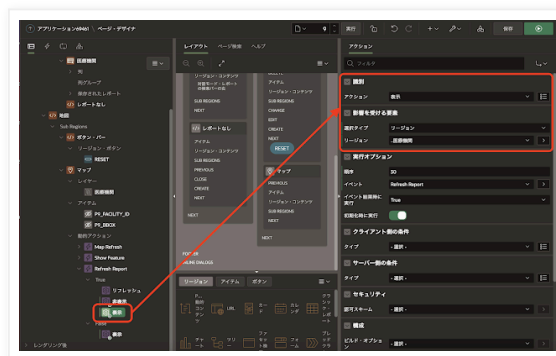
警告のリージョンを非表示にします。TRUEアクションの作成を実行し、識別のアクションを非表示とします。影響を受ける要素の選択タイプをリージョン、リージョンを..レポートなしとします。



動的アクションのクライアント側の条件に一致しない場合、警告のリージョンを表示させます。作成したTrueアクションでコンテキスト・メニューを開き反対のアクションの作成を実行します。



TRUEアクションの作成を実行し、医療機関のレポート表示します。識別のアクションは表示、影響を受ける要素の選択タイプをリージョンとし、リージョンに..医療機関を選びます。



このアクションについても、反対のアクションの作成を実行します。

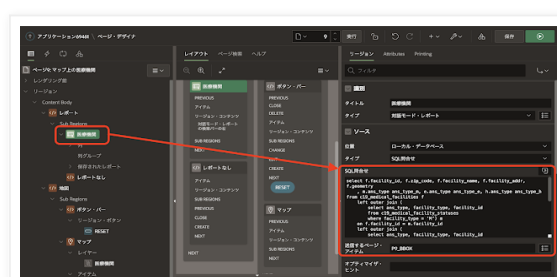


P9\_BBOXとして保存されるジオメトリが検索結果に反映されるよう、レポートおよびマップのソースであるSQL問合せを更新します。

対話モード・レポートの**医療機関**の**ソースのSQL問合せ**は以下になります。P9\_BBOXとして設定されている領域に接しているか含まれる位置に存在する医療機関に限定されるよう、WHERE句でSDO\_ANYINTERACTファンクションが使用されています。

```
select f.facility_id, f.zip_code, f.facility_name, f.facility_addr, f.geometry
      , m.ans_type ans_type_m, e.ans_type ans_type_e, h.ans_type ans_type_h
from c19_medical_facilities f
  left outer join (
    select ans_type, facility_type, facility_id
    from c19_medical_facility_statuses
    where facility_type = 'M') m
on f.facility_id = m.facility_id
  left outer join (
    select ans_type, facility_type, facility_id
    from c19_medical_facility_statuses
    where facility_type = 'E') e
on f.facility_id = e.facility_id
  left outer join (
    select ans_type, facility_type, facility_id
    from c19_medical_facility_statuses
    where facility_type = 'H') h
on f.facility_id = h.facility_id
where
:P9_BBOX is not null
and
sdo_anyinteract(
  geometry,
  mdsys.sdo_util.from_geojson( :P9_BBOX )
) = 'TRUE'
```

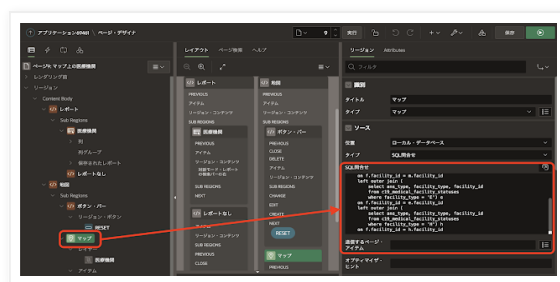
送信するページ・アイテムにP9\_BBOXを指定します。



マップのソースのSQL問合せには以前の作業でWHERE句が付けられています。今回の用途では不要なので削除します。以下のSQLになります。

```
select f.facility_id, f.zip_code, f.facility_name, f.facility_addr, f.geometry
, m.ans_type ans_type_m, e.ans_type ans_type_e, h.ans_type ans_type_h
from c19_medical_facilities f
left outer join (
select ans_type, facility_type, facility_id
from c19_medical_facility_statuses
where facility_type = 'M') m
on f.facility_id = m.facility_id
left outer join (
select ans_type, facility_type, facility_id
from c19_medical_facility_statuses
where facility_type = 'E') e
on f.facility_id = e.facility_id
left outer join (
select ans_type, facility_type, facility_id
from c19_medical_facility_statuses
where facility_type = 'H') h
on f.facility_id = h.facility_id
```

送信するページ・アイテムに設定されているP9\_FACILITY\_IDは不要なので削除します。



以上で完了です。ページを実行して記事の最初にあるGIF動画のような動作を確認してみましょう。

索引がある最初の記事は[こちら](#)になります。

[続く](#)

Yuji N. 時刻: 18:48

共有

[ホーム](#)

[ウェブバージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)